

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -139	2021/9/1	U.S. Marine F-35Bs to Operate off Largest Japanese Warship Later This Year	米海兵隊の F-35B が今年後半に海自最大の艦艇で運用を開始する	USNI News 2021/9/1	 昨日開かれた USNI-CSIS 海洋安全保障対話の中でバーガー海兵総司令官が明らかにしたということです。	岩崎洋一
2021 -140	2021/8/31	New USV for Japan's Mogami-class FFM Frigate Breaks Cover	「もがみ型」FFM用の新USVが姿を現す	Naval News 2021/8/31	 MUディフェンス・システム(旧日立造船特機部)が開発中の掃海用USVです。イメージ図よりは、カッコ良いと思いますが、如何でしょうか。	川原 梅三郎
2021 -141	2021/9/7	South Korea Test-Fires Ballistic Missile From New KSS III Submarine	韓国が新型潜水艦「KSS III」から弾道ミサイルを試射	Naval News 2021/9/7	 韓国海軍が密かに SLBM を開発しました。世界で 8 番目ということです	岩崎洋一
2021 -142	2021/9/7	GA-EMS Launch and Recovery Systems Successfully Perform During Ford Full Ship Shock Trials	GA(ゼネラル・アトムクス)EMS社製造の航空機電磁発艦-着艦拘束システムは空母フォードのショックトライアルに対して成功裏に終えた	SeaPowe 2021/9/7	 新型空母フォードで新装備された電磁カタパルトとアドバンスド着艦拘束装置は、艦船の衝撃試験にも耐え、設計どおりの成果が得られ、今後の空母に順調に装備されるとのこと。衝撃試験を無事に終えられたのは、搭載前に行なわれるバージ水中爆発試験等で課題を解決してきた成果だ、と製造メーカのGA-EMS社社長は語っています。BZ素晴らしい！	清水 隆
2021 -144	2021/9/7	Navy Arming Surface Ships with Drone Repellent System	海軍はドローン忌避システムを水上艦に装備	USNI News 2021/9/7	 市販のドローンでも手軽に入手でき爆弾として使えるようになったことを受けて、米海軍の水上艦には、可搬式ドローン撃退システムを搭載し、当直員が常に使用できるようにしているようだ。アフガンやイラクで遠隔起動爆弾の対策で使用した装備品の応用品だという。日本での運用は電波法の関係でかなり難しそうだがどうだろうか？	清水 隆
2021 -145	2021/9/13	Japanese Military Spots Chinese Sub Near Southern Islands	日本軍が南方諸島付近で中国潜を探知	USNI News 2021/9/13	 記事のタイトルは下ですが、後半は QE 打撃群との共同訓練内容が主となっています。	岩崎洋一
2021 -146	2021/9/10	Naval Group takes next step with Australia but its position is still in danger	Naval Groupはオーストラリアと共に次の段階に移行したが状況はまだ危機的である	Navy Recognition 2021/9/10	 オーストラリアのAttack級潜水艦計画が混迷しているようです。当初2030年代初頭に1番艦が就役するはずが10年以上遅れるとか。出来上がったところには陳腐化してしまう恐れがあります。プロジェクトを破棄する可能性もあるようで、あの時「ごうりゅう(豪龍)」を選択していればよかったという豪海軍の後悔の声が聞こえてきそうです。	佐々木 司
2021 -147	2021/9/1	The UK MoD awards a design contract to 4 competitors for Fleet Support Ship	英国国防省は競合4社と艦隊支援艦の設計契約を結んだ	Naval Post 2021/9/1	 やっど、英国の物資補給艦の建造調達動き出しました。国内造船基盤を維持する政治の強い意志を感じます。やはり、造船基盤を維持するためには、政治の意思が重要ということでしょうか。しかし、設計コンペで各社に7億6千万は？	清水 隆
2021 -148	2021/9/15	Australia to Pursue Nuclear Attack Subs in New Agreement with U.S., U.K.	オーストラリアは米英との新たな合意に基づき攻撃型原潜保有を追求	USNI News 2021/9/15	 豪Collins級潜水艦の代替として仏NavalGroupがBarracuda級原潜の通常動力型建造を受注したものの、建造が遅延していることは周知のことでしたが、急転直下オーストラリアはこの契約を破棄して米英の支援を得て攻撃型原潜を国内建造する決断をしたようです。近年まれにみる軍事技術上の大ニュースではないでしょうか。	佐々木 司
2021 -149	2021/9/4	Raytheon's precision landing system could be coming to more allied ships, expeditionary airfields soon	レイセオン社の精密着艦システムが多くの同盟国の艦船や遠征飛行場に導入される可能性が出てきた	Defense news naval 2021/9/4	 レイセオン社の統合精密着艦システム(JPALS: Joint Precision Approach and Landing System)です。EABO 作戦でも使えるコンパクトな装備品です。西側の多くの国で使われることになりそうです。	岩崎 洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -150	2021/9/16	Royal Navy nuclear submarine technology to be shared with Australia	オーストラリアと共有されるイギリス海軍原子力潜水艦技術	NavyLookout 2021/9/16	 <p>豪州は、これまでにコリンズ級、アタック級と二度にわたり、構想段階の潜水艦の導入を追求して、理想通りに推移させることに失敗したと言えます。そして、今回の結論に至った訳ですが、いくら経験豊富な米英と提携したとしても、問題が山積していることに変わりはないと思います。つまり、国内的には法律で禁止した原子力産業がないことが挙げられるほか、米英についても問題があります。タイプ26フリゲートの移転に成功した英国は追い風のようなのですが、こと原子力潜水艦については、人的にも、基盤的にも余力がなく厳しいようです。一方で、米国は明らかに英国よりも大きな原子力潜水艦に関する工業力を持っていますが、バージニア級の増産や、コロンビア級SSBNプログラムが開始され、現在、余力が無いのに、同じ同盟国である韓国への原子力潜水艦技術の供与を断った経緯があり、所謂ダブルスタンダードの矛盾に陥る可能性が高く、身の振り方は容易ではないと思うのです。これらを勘案し、消去法でいくと、最新設計ではないものの、英国のアスチウト級をベースに検討していくことになると思われします。何より英連邦内のことであり、技術供与、法制、税制、軍事制度など問題も生じにくいと思われます。今回改めてアングロサクソンの結束の強さを思い知らされた感じではありますが、今後の動向がとても気になる話題です。</p>	本山泰之
2021 -151	2020/5/1	Cure for Royal Navy destroyers engine woes in sight	英国海軍駆逐艦、エンジン不具合改修の見通しがたった	NavyLookout 2020/5/1	 <p>現在、インド太平洋に派遣されている英国空母機動群には2隻のTPYE45型駆逐艦が随伴していたが、内1隻の「ダイヤモンド」は主機故障のため機動群から離脱し、修理を行っていた。今回の故障がどういふものか報告はないが、就役当時から推進装置に不具合があり、その対策記事が去年でしていたので紹介する。TPYE45は統合電気推進装置で、新開発GT(WR-21)が突然、故障停止し、ブラックアウト、推進装置停止となる不具合であった。対策としてはDE発電機を1台増やし、通常はDE発電機3台で航行可能としたようだ。建造当時の主GT選択は英国技術基盤のために必要な選択とは思いますが、艦内給電の継続性や運用性についての配慮が足りなかったようにも思える。</p>	清水 隆
2021 -152	2021/9/9	What is the status of the Type 45 Destroyer engine repairs?	駆逐艦 Type45 主機の修理状況は？	UK Defence Journal 2021/9/9	 <p>修理費が高額なので予定通りに進捗しないのか、それとも英国国内で別の問題が生起しているのか。</p>	川原 梅三郎
2021 -153	2021/9/23	Check Out the Futuristic 'Naval Cockpit' of the Italian Navy's PPA	イタリア海軍PPAの長現代的な“海軍コクピット”を見る。	Naval News 2021/9/23	 <p>ミサイル艇を更に進化させた戦闘機のような超現代的な艦橋です。子供の頃に見たアニメが現実になっています。</p>	川原 梅三郎
2021 -154	2021/9/29	Greece signs pact to buy three frigates from France	ギリシャがフランスから3隻のフリゲートを購入する協定に調印	Defense News 2021/9/29	 <p>ギリシャの将来フリゲートに関しては海外企業6社が応札、競争入札で相手方が決められる予定でしたが、9月28日に突如フランス提案のFDIフリゲートを採用すると発表されました。1週間前はLockheed Martin提案のLCS改良型が有力視されていたところ、どういふわけか大逆転。競争入札の枠組みはどうなってしまったのか・・・日本ではあり得ません。</p>	佐々木 司